

いつ発生するか分からない災害に備えるため

総合防災訓練にご参加ください

8月17日(木)中央中学校で

毎年8月30日～9月5日は防災週間です。市では、この防災週間に先立ち8月17日(木)に、防災関係機関やボランティア団体の皆さんと一緒に、中央中学校を訓練会場として、震災発生を想定した「総合防災訓練」を実施します。詳しくは総務部総務課防災係(内線2223)へ。



「いざ」という時、行動できる力をお持ちですか(昨年の訓練の様子)

阪神・淡路大震災から11年が経過しました。首都圏では、現在の「東海地震」と「首都圏直下型地震」の二つについては、「いつ起きてもおおしくないし、相前後して起こる可能性もある」と言われています。また、このところの異常気象などによる集中豪雨や洪水に伴い、首都圏各地で毎年のように、首都圏各地で毎年のよ

うに災害が発生しています。万一の災害に備え、被害を最小限に食い止めるためにも、自分の身は自分で守る。自分たちのまちは、自分たちで守る。という防災意識を持つことが必要です。この訓練の中で、冷静な行動力を体得したり、防災関係機関等との連携を密接にして、地域の活動体

訓練当日サイレンが鳴ります 身辺の安全確認を!

訓練当日(8月17日)の午前8時43分に、警戒宣言発令を知らせるサイレン(45秒鳴り、15秒休み。3回繰り返す)と、半鐘(5点連打を繰り返す)を市内全域で鳴らします。これを合図に、各ご家庭では、火の元の点検や水のくみ置きなどの訓練を行ってください。

災害に備えて 家族会議を!

もしものとき、家族がばらばらな行動では困ります。次の例のようなテーマで家族会議を開いて、連絡方法や避難場所などを確認しておきましょう。

家族の役割
火の始末をする係、電源(ブレーカー)やガスの元栓を止める係、高齢者の安全確保をする係、持ち出す荷物の分担など

消火について
消火器や三角バケツの置き場所の確認と使い方

家族間の連絡方法
電話、ファクス、玄関の張り紙などを使い、安否の情報を伝えるように話し合ひましょう。親類や知人を連絡中継地にしたリ、伝言センターを利用する方法もあります

避難場所の確認
自宅からのいつとき避難場所や避難所も全員で確認し、落ち合える場所を決めましょう

避難経路の安全確認
いつとき避難場所や避難所へのルートを確認。また、実際に歩いて避難経路の安全を確認しておきましょう

非常持ち出し品のチェック
非常食や飲料水などが古くなっていないかチェックしましょう

家具転倒防止対策や整理整頓
家具は転倒防止がしてありますか。整理整頓の大切さも話し合ひましょう

乳幼児・病人などの避難方法
身軽に動けない家族を避難させる方法を考えましょう

地震情報の入手方法
携帯ラジオは必需品。うわさやデマに惑わされないように話し合ひておきましょう

制の強化を図りましょう。今年の訓練は、8月17日(木)午前8時半～正午、中央中学校(中央町5ノ7ノ65)を訓練会場として実施します。対象は、中央中学校および第八小学校地域を含む中央町二丁目～五丁目、前沢一丁目、八幡町三丁目目の方までですが、この地域以外の方でもぜひご参加ください。前日と当日に、防災無線でご案内します。



《訓練の内容》
避難活動訓練：対象地域の自治会ごとに中央中学校まで避難します。
誘導訓練：学童クラブの児童を中央中学校まで誘導します。
緊急道路啓開訓練：不通

広報訓練を行います。多摩北部直下型地震対応型多摩北部に震度6の地震が発生し、建物の倒壊や火災窓ガラスの破損落下、家具などの転倒によって負傷者が続出した場合を想定した各種訓練を行います。

《訓練参加機関》
東久留米市、東久留米市消防本部、東久留米市消防団、近隣自治体、陸上自衛隊第一後方支援連隊、警視庁田無警察署、東京消防庁、東久留米郵便局、東京ガス株式会社、東京電力株式会社、株式会社NTT東日本、東京都トラック協会、東久留米市建設業協会、東久留米医師会、東久留米市歯科医師会、自治会、自主防災組織、東久留米市交通安全協会、東久留米市防犯協会、東久留米市赤十字奉仕団、東久留米市災害防止協会、東久留米市CPR友の会、NPO法人日本救難ハイク協会、東久留米支部、その他防災関係機関 (順不同)

となった緊急輸送用道路の障害物を取り除き、通行を確保します。
応急給水訓練：避難者への水の供給をします。
炊き出し訓練：非常食種の炊き出しをします。
ライフライン復旧訓練：電力・ガス・電話の応急復旧訓練をします。
救護物資輸送訓練：近隣市との相互応援協定により、救護物資が到着します。
応急救護訓練：三角きんを使用した応急手当を指導します。
救出・救護訓練：中高層建物や倒壊家屋のがれきの中から負傷者を救出し、医療救護所で手当をします。
震災消防訓練：バケツリレーや屋内消火栓を使って、初期消火を行います。
一斉放水：延焼防止のため、一斉放水を行います。
以上のような訓練と、展示・PRコーナーを予定しています。



日ごろからの訓練と用意が大事!

